

9月定例千葉県議会⑤

【かずさアカデミアパーク構想について】

《(株) かずさアカデミアパークに係る民事再生計画案等について》

8月6日	スポンサー契約締結・発表 共同再建スポンサー：(株) ホテルオークラ・日本電波塔 (株) (株) マザー牧場・グリーンコア (株)
8月10日	民事再生計画案を提出
8月末	裁判所が再生計画を債権者に送付
9月	県議会に債権放棄に係る議案提出・審議 → 可決
10月下旬	債権者集会 (可決の場合、裁判所が再生計画認可決定)
11月上旬	再生計画の確定 (減増資、一括弁済、新経営体制発足)

2010年8月23日 商工労働部企業立地課より

《再生計画による県の債権放棄額：合計約60億円》

債権放棄額：約24億44百万円 (県直貸分・債権買取分・工事負担金など)

出資金減資：約35億円 (資本金97億5千万円が民事再生法の規定により全額減少)

《小宮清子さんの代表質問》



再生あるのみで進めているが、原因、責任を明確にしてから前に進むべきであり、この順序が逆だと考えるがどうか。

経済環境の変化に適切な対応ができなかった経営にも問題があった。結果的に見通しが甘かったと言わざると得ない。経営環境の変化は予想を遥かに上回るものであったことを考えると、過去の責任を問うことは難しい。同社の地域の活性化に貢献できる自立した会社として再生させることが優先すべき過大だと考える。(森田知事)

見通しだけでなく、原因の追究がとても甘いと思います。原因がしっかりわかっていると、同じ失敗を繰り返すことになると思います。「見通しが甘かった」、う～ん、繰越手続き漏れの問題でも同じことが原因としてあげられています。この甘さが県庁のコンプライアンスの意識が徹底できない原因になるのではと心配です。



6月議会附帯決議を受けてのパーク構想の見通しについては、いつまでを目処に取り組んで行くのか。

環境の変化を踏まえ、構想や土地利用などについて見直すため、本年8月に、庁内に関係課長で構成する「かずさアカデミアパーク事業検討チーム」を設置した。できるだけ早期に関係者の同意が得られるように努める。(森田知事)

6月議会附帯決議

知事は、株式会社かずさアカデミアパーク再生支援事業の実施に当たり、次の事項について、早期に適切な措置を講じること。

- 1 株式会社かずさアカデミアパークの再生支援事業について、県民に十分な説明を行うこと
- 2 かずさアカデミアパーク構想について、社会情勢の変化を踏まえた見直しを行い、また、その際には十分な説明を行うこと



千葉県には、第2、第3のかずさアカデミアパークになる可能性を秘めた○○○パーク、工業団地がたくさんあります。千葉県の産業地図には100以上の計画があり、さらに都県1時間構想の道路整備、これからも県費をつぎ込んでいくのでしょうか。県民も意識を持っていく必要を感じます。